



### 12/17 那覇市4R推進ポスター・標語コンクール表彰式 第1回「環境絵日記」コンテスト

「那覇市4R推進ポスター・標語コンクール」「環境絵日記コンテスト」、両コンクールの表彰式が市役所で行われ、受賞者へ賞状が授与されました。

第1回となる「那覇「環境絵日記」コンテスト」で見事「市長賞」に輝いた識名小学校4年生の大湾優衣さんは「絵日記は想像だけで書いたので、受賞したと聞いたときはびっくりでした。お化け屋敷に入ったお客さんの悲鳴で電気をつくる発想が、特にお母さんにほめられました」と嬉しそうに話してくれました。



### 12/19 平成26年度「エコファミリー認定式」

市では、前年度にエコファミリー宣言をした家庭を対象に、「省エネ対策カレンダー」を活用して電気・ガス・水道の使用量のチェック・見直しを行ってもらい、半年間の報告をしてくださったご家族をエコファミリーとして認定しています。

エコファミリーの平均電気代は沖縄の平均電気代の約半分。「照明は必要なときのみ」「洗濯はまとめて」など、みなさん日常的なことをコツコツに取り組んでいるだけですと話してくれました。



### 12/24 エボラ出血熱疑似患者対応訓練

那覇市保健所では、エボラ出血熱の疑いのある患者発生に備え、沖縄県警察本部および沖縄県立南部医療センターと連携した訓練が行われました。今回の訓練は発熱のみの症状で、単身者の会社員(歩行可)を想定。初めての訓練となったことから、多くの課題を確認することができました。感染患者から聞き取りができない場合の個人情報の入手に関する整備のほか防護服での作業の難しさ、連絡網のスムーズな対応などがあげられ、保健所長はこれらの課題を整理しなければならぬと、総評にて振り返りました。



### 1/5 平成27年那覇市新年祝賀名刺交換会

新春恒例の新年祝賀名刺交換会が、沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハで行われ、国県の機関、市政功労者、各種団体会長など、約1,200名が参加して、市民の健康と本市の発展を祈念しました。乾杯の音頭で那覇商工会議所の國場幸一会頭は「今後も経済面で那覇市を盛り上げていきたい」と挨拶し、城間幹子市長は、「『平和・子ども・未来』『ひとつながりまち』という言葉を市政運営の核として、これまで築き上げてきた協働によるまちづくりを確固たるものにいたします。」と挨拶しました。



### 1/10 那覇市消防出初式

「那覇市消防出初式」が消防局庁舎で行われ、消防職員、消防団員、女性防火クラブの総勢230人が参加し「安全で安心な住みよいまちづくり」の実現を願うとともに、装備、組織力などを披露しました。

式では消防活動に対して功績があった団員などへの表彰が行われたほか、アトラクションでは銘苅小学校の子どもたちが心肺蘇生法の訓練に参加しました。

展示訓練では、車両点検や火災出動の様子、救助隊がスプレッターで車両の屋根部分を切り、閉じ込められた人を救助する訓練が披露されました。



### 1/11 平成26年度 成人式

1月12日の「成人の日」に先立ち、1月11日(日)市内各中学校区単位の地域による成人式が行われました。

当日は、袴や艶やかな振袖を身に着けた新成人の方々が式典に臨み、お世話になった恩師や地域の方々、また、いつも見守ってくれている親へ感謝の気持ちを伝えました。

新成人のあいさつでは宮城由(よし)さんが「はたちの歳まで、育ててくれた親や地域の方々に改めて感謝を伝えたいと同時に、まだまだ未熟な自分達を今後ともよろしく願います」と述べました。



### 1/13 平成26年度南米研修生来訪

「海外移住那覇市出身者研修」の研修生として、ブラジルから派遣された高良 シンチア 小夜子(右2番目)さんと、アルゼンチンから派遣された佐久田 アンドレス(左2番目)さんが市役所を訪れました。

初めて沖縄を訪れた高良さんは「日本語や沖縄の伝統文化であるエイサー、太鼓(光史流)を学び、ブラジルで広めていきたいです」と話し、特技が空手だと話す佐久田さんは「すでに学んでいる空手や合気道、三線を通して交流を深めていきたい」とそれぞれ抱負を語りました。

### 1/14 岩手県大船渡市児童表敬訪問

震災や戦災・米軍基地問題を主なテーマに、沖縄の児童たちとの交流を深めようと、大船渡市の児童4人が来沖し、市役所へ城間市長を訪ねました。市長は「子どもたちは宝であり未来です。将来に向かって力強く生き抜いていくために、このような交流ができたことをうれしく思っています。震災による心の傷も、まだまだ癒えない中と思いますが、前向きで積極的な交流をしてほしい」と激励しました。大船渡市立越喜来(おきらい)小学校6年生の西村優太郎くんは「沖縄の小学校での交流が楽しみです。現地では感じられないことや学べないことがあると思うので、地元に戻ったら、そのことを話したいです」と笑顔で話してくれました。

